



photo: Makoto Sato

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催

ダンス・プロジェクト『恋する虜』 関連シンポジウム

問いとしての〈パレスチナ〉

2007年10月8日(月・祝) 15時30分ー19時(終了予定)

京都芸術劇場studio21 / 入場無料(要予約)

【パネリスト】

岡真理 (現代アラブ文学・第三世界フェミニズム思想)

高嶺格 (美術作家)

宇野邦一 (フランス文学・フランス思想)

山田せつ子 (ダンサー／振付家)

八角聡仁 (批評家)

◎関連上映

『ルート181 — パレスチナ〜イスラエルの旅の断章』 / ミシェル・クレイフィ+エイアル・シヴァン監督



世界がある避けられない運動にとらわれていることの悲しみ ——「美には傷以外の起源はない」(ジャン・ジュネ)

この度、京都造形芸術大学舞台芸術研究センターでは、フランスの作家ジャン・ジュネのテキストに基づくダンス公演『恋する虜』(2008年3月)に先立ち、関連シンポジウムとして「問いとしての〈パレスチナ〉」を開催します。ジュネの遺した作品群とその特異な生の軌跡を読み解きながら、それを現在の私たちを取り巻く状況との関係においてダンス作品へと結実させていくプロセスの中で、今回は特にジュネとパレスチナの関わりに着目します。パレスチナ情勢も刻々と変化している現在、パレスチナ滞在期の追憶を中心とするジュネの遺作『恋する虜』を私たちはどう読むことができるのか。そもそも何がジュネをパレスチナへと駆り立て、パレスチナ人の傍らで過ごした時間はジュネに何をもたらしたのか。ジュネの問いは生々しく、今に至っていると思います。

シンポジウムでは、私たち自身がパレスチナに触れ、そこから派生する問題の拡がりを知るために、まず第一部でパレスチナ情勢に精通する岡真理さんと、異なる価値観を持つ他者との関わりを真摯に表現する美術作家・高嶺格さんを招き、パレスチナをめぐる表現の現在を問い、第二部ではフランス文学の研究者・宇野邦一さん等を交え、ジュネの言葉を手がかりに、現代における「政治」と「芸術」の関係を考えます。また、当日シンポジウム前には、パレスチナ人監督ミシェル・クレイフィとユダヤ人監督エイアル・シヴァンの共同制作したドキュメンタリー映画『ルート181』を学内の別会場にて上映します。

問いとしての〈パレスチナ〉 ダンス・プロジェクト『恋する虜』関連シンポジウム

パネリスト：岡真理×高嶺格×宇野邦一×山田せつ子×八角聡仁

【日時】10月8日(月・祝)15時30分～19時(終了予定)／【会場】京都芸術劇場studio21(京都造形芸術大学内)／入場無料(要予約)

【パネリスト・プロフィール】

◎岡真理(おか・まり)

京都大学大学院人間・環境学研究所准教授。現代アラブ文学・パレスチナ問題・第三世界フェミニズム思想専攻。著書に『森椰子の木陰でー第三世界フェミニズムと文学の力』など。雑誌『前夜』に、パレスチナ人作家ガッサン・カナファーニーの作品を翻訳中。

◎高嶺格(たかみね・ただす)

美術作家。作品はビデオ、インスタレーションから書道や陶器まで様々な形態に渡るが、舞台のコラボレーションや演出作品も多く、ジャンル横断的な活動が注目を集めている。2001年に半年間、イスラエルに滞在。

◎宇野邦一(うの・くにいち)

1948年生まれ。立教大学教授。フランス文学・思想専攻。主な著書に『ジャン・ジュネー身振りと内在平面』、『アルトー 思考と身体』、『<単なる生>の哲学』、訳書にドゥルーズ『フォーロー』、ベケット『伴侶』など。

【ダンス・プロジェクト『恋する虜』】

『恋する虜』(08年3月、春秋座)上演に向けた、京都造形芸術大学教授の山田せつ子(ダンサー／振付家)、八角聡仁(批評家)らを中心とする共同プロジェクト。ダンス、映像、美術の創作プロセスを公開するワーク・イン・プログレス『ジュネへ応答する8日間』のほか、関連企画として佐藤真監督『エドワード・サイド Out of Place』上映会などを開催している。



「ジュネへ応答する8日間」より 2007年3月 studio21

★関連上映

『ルート181ーパレスチナ～イスラエルの旅の断章』(ミシェル・クレイフィ+エイアル・シヴァン監督/2003年、三部構成、270分)

1947年、国連決議に基づいて制定された分割境界線を辿りながら、様々な人々との対話を通して半世紀以上にわたる破壊と追放の歴史、複雑で矛盾をはらんだ状況を浮かび上がらせる作品。

【日時】10月8日(月・祝)9時30分～15時(途中休憩あり、詳細はお問い合わせください)

【会場】京都造形芸術大学 人間館B1 映像ホール／入場無料(要予約)

【作品提供】山形国際ドキュメンタリー映画祭



【お申し込み方法】

お名前、電話番号、シンポジウムと関連上映会のどちらに(もしくは両方に)ご参加されるかを明記の上、事前にご予約ください。

【お申し込み先】

京都芸術劇場チケットセンター／TEL 075-791-8240(平日10～17時) E-mail ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

【助成】財団法人セゾン文化財団

【主催・お問い合わせ先】京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271京都市左京区北白川瓜生山2-116 TEL 075-791-9437 FAX 075-791-9438

E-mail info@k-pac.org URL http://www.k-pac.org/

